

令和4年度 管理運営に関するチェックリスト(関係者評価):検討が必要な項目は無印

チェック項目	主な項目
1. ガバナンスの確立	<input type="radio"/> 1. 理事長を中心とする理事会が学校法人の最終的な決定機関として機能している。
	<input type="radio"/> 2. 一部の理事に権限が集中することなく、理事会の一体的な協力体制が維持できている。
	<input type="radio"/> 3. 理事会の決定方針を、全教職員に周知徹底している。
	<input type="radio"/> 4. 学校法人の会計と財務の仕組みを、役員と全教職員に理解させるための機会を十分に設けている。
	<input type="radio"/> 5. 財務分析を毎期実施し、分析内容を理事会で共有するとともに、全教職員に対して財務情報を説明する機会を設けている。
	<input type="radio"/> 6. 外部理事からの意見を取り入れ、法人運営機能の強化を図っている。
	<input type="radio"/> 7. 校長の意思決定をサポートする体制の強化を図っている。(各分野スタッフ)
	<input type="radio"/> 8. 評議員会から法人運営に対する適切なチェックと助言を受ける機会を十分設けている。
	<input type="radio"/> 9. 監査計画に基づいた計画的な監査を実施している。
	<input type="radio"/> 10. 財務面や教学・業務執行面に関して監事の意見を聞く機会を設けている。
	<input type="radio"/> 11. 会計士等からの指摘や助言を活用し、必要な改善策を立てている。
	<input type="radio"/> 12. 法人規定の整備・見直しを行い、規定にのっとった運営を行っている。
	<input type="radio"/> 13. 法務が法令・規定に基づいて適正に行われていることをチェックする組織を整備している。
	<input type="radio"/> 14. 不正な会計処理が生じないように、十分なチェックを行っている。
2. 経営理念と戦略の策定	<input type="radio"/> 15. 建学の精神を時代に即した使命として確立し、全教職員に明示している。
	<input type="radio"/> 16. 経営戦略・中長期計画と経営環境・経営資源の分析並びに内容についての学内周知を行っている。
	<input type="radio"/> 17. 法人運営や経営戦略等の進捗について定期的に把握し、評価見直しを行っている。
3. 組織の円滑化	<input type="radio"/> 18. FD・SDを計画的・体系的に実施し、その成果を検証して改善を行っている。
	<input type="radio"/> 19. 組織の再編やアウトソーシングの活用等により、効果的な職務体制を構築している。
	<input type="radio"/> 20. 教職員からの意見を学校運営に反映させる仕組みを機能させている。
	<input type="radio"/> 21. 評価の基準・方法・結果について定期的に見直し改善を行い人事考課を実施している。
	<input type="radio"/> 22. 全教職員に対し十分な情報提供を行い、良好な労使関係を構築している。
4. リスク管理体制の構築	<input type="radio"/> 23. リスクマネジメントや危機管理について論議している。
	<input type="radio"/> 24. 自然災害やサイバー攻撃等に対し、危機管理体制を整備している。
	<input type="radio"/> 25. 倫理規定、行動規範等を作成し、ハラスメント防止およびコンプライアンスに取り組んでいる。
	<input type="radio"/> 26. 苦情や内部通報に適切に対応できる体制をとっている。
	<input type="radio"/> 27. 個人情報並びにキャンパスセキュリティ確保等学生に対する安全確保のための方策を講じている。
	<input type="radio"/> 28. 施設設備を適切に管理・保全し、更新に向けた具体的計画を立てている。
5. 財務体質の改善	<input type="radio"/> 29. 予算管理、予算統制を実行している。
	<input type="radio"/> 30. 資金繰り表を作成し、キャッシュフローの動向を常に把握している。
	<input type="radio"/> 31. 学生募集体制の強化を図り、募集結果の評価や次年度に向けた体制の見直しを毎期行っている。
	<input type="radio"/> 32. 収益事業等外部資金の獲得のための努力を行っている。
	<input type="radio"/> 33. 人件費の適正化や経費の抑制・縮減のための具体的方策を立て、実行している。
	<input type="radio"/> 34. 公租公課、所定福利費、共済掛金等の滞納の恐れがない。
	<input type="radio"/> 35. 有利子負債について明確な返済計画を策定しており、滞りなく確実に返済を実行している。
6. 教学内容の改善	<input type="radio"/> 36. 建学の精神を踏まえた教育方針やカリキュラムの整備を教員・職員の協働により進めている。
	<input type="radio"/> 37. 教育方法の改善や授業評価等により、教授能力や教育機能の向上を図っている。
	<input type="radio"/> 38. 学生に身につけさせる知識・能力やカリキュラムの体系をせいびしている。
	<input type="radio"/> 39. 単位互換等国内外の大学等との連携を進めている。
7. 学生への支援	<input type="radio"/> 40. 学生生活を向上させるため、ていきてきに満足度調査を実施している。
	<input type="radio"/> 41. 面接指導やカウンセラーの設置等、学生のための窓口を整備している。
	<input type="radio"/> 42. 個別に学生に状況を把握し、中途退学や留年等を防ぐための有効な対策を実施している。
	<input type="radio"/> 43. 留学生について受け入れ基準を明確にし、学業成績の把握、出欠状況の確認等在籍管理をテ呈している。
	<input type="radio"/> 44. 学生に対し、総合的な支援体制を整えている。
8. 情報公開と地域支援	<input type="radio"/> 45. カリキュラムや財務状況等の学校情報を公開している。
	<input type="radio"/> 46. 地域社会に所在する専門学校として地域との交流、連携を積極的に進めている。

コメント

・本会計年度においては、NO9・13・28・39の項目について昨年度からの改善にやや不備があった。